

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会  
**令和5年度事業報告書**  
(令和5年4月1日より令和6年3月31日まで)

## I 公益事業

### 1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

#### (1) コンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向けた新規広報ツール、スマートフォン向けのコンサート情報アプリ「チラシクラシック」については、運営事務局を賛助会員のイープラス社内に置き運営を行っている。令和5年度の運営概要報告は以下のとおり

※事業名 チラシクラシック

対象期間 令和5年4月～令和6年3月までの一年間の運営報告（開始 平成30年10月25日）

運営主体 日本クラシック音楽事業協会

運営事務局 チラシクラシック運営事務局（株式会社イープラス内に設置）

内容 観客の高齢化が進むクラシック界において、新たな観客（特にライト層や若年等）に向けた情報提供活動として、いつでもスマートフォンから全国で実施されるクラシックコンサートのチラシが無料で閲覧できるサービス。

- ・ インストール数：11,559(+869)（対前年比:1.08）昨年より8%増
- ・ 掲載チラシ総数：1,276（対前年比:1.01）昨年より微増
- ・ 新規登録主催者数：95団体/97名（対前年比1.02/1.04）昨年より約2～4%増
- ・ 1日当りの掲載公演数：3.49（対前年比:1.01）昨年より微増
- ・ 平均チラシ掲載期間：83日（対前年比0.72）昨年より28%減
- ・ セッション数：14,172（アプリの起動数）（対前年比:0.8）昨年より20%減
- ・ スクリーン数：267,662（画面数）（対前年比:0.8）昨年より20%減
- ・ セッション別：18.89（1回平均画面数）（対前年比:1.00）増減なし
- ・ 新規ユーザー：1,470（対前年比:0.8）昨年より20%減

(2) クラシック・アワード(仮称)の創設については、ワーキンググループの中核となる女性部会の開催に至らず、創設に向けた活動自体を全て次年度へ持ち越す事となった。

### 2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽に関する人材育成として会員向けの研修会を下記の通り開催した。尚、シンポジウム、経営懇談会、女性部会については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会員各位の公演活動の円滑な開催に傾注する為、今年は開催しなかった。尚、5(2)に記載の協力活動における人材育成事業について会員各位に参加を呼びかけて開催に協力した。

※会員研修会

第1回 テーマ「今から対応する電子帳簿保存制度」

日時 令和6年3月21日（木）14時00分～16時00分

会場 オフィスサークルN五反田 地下1階 セミナー室(大) [品川区]

参加者 協会会員社 計9社14名

ゲスト 杉井俊文（税理士/ソーシャルグッド会計事務所）

コーディネーター 入山功一（協会会長/（株）AMATI 代表取締役社長）

内容 小さな規模の事業者が今からでも費用負担が少ない形でできる電子帳簿保存制度対策について学んだ。最低限どこまで対応すれば良いか等、実践に役立つ情報のレクチャーを受ける他、

会員各社の対応状況の共有等がなされた。

(2) 協会の人材育成の一環として今年より新たに立ち上げた青年部については、公募の結果 10 社 15 名の参加があり、計 3 回の委員会を開催する他、交流会も実施された。青年部は、クラシック音楽業界を目指す人材が減少しているのではないかと、若い人たちの視点により、現在の業界の課題を共有しあい魅力的な業界を目指すために活動を行っている。

10 月 2 日(月) 10:30~12:00 オフィスサークル N 五反田地下 1F セミナー室(大)

11 月 14 日(月) 12:00~14:00 オフィスサークル N 五反田地下 1F セミナー室(大)

1 月 31 日(水) 14:00~16:00 スペースワイエム 終了後希望者により交流会を実施

(3) テキスト「クラシック・コンサート制作の基礎知識」リニューアルに向けたワーキンググループの活動  
2013 年の発刊より 10 年を経過しているテキストについては、今年度ワーキンググループを立ち上げ、次年度のリニューアル発刊に向けた活動を行う他、以下の各種会議等を実施した。

10 月 30 日(月) 16:00~ テキスト編集会議 下八川担当理事・石田委員長・協会事務局

11 月 20 日(月) 13:00~ テキスト出版会議 善積参与・協会事務局・出版候補社

12 月 25 日(月) 16:30~ テキスト編集会議 下八川担当理事・石田委員長・仁科参与・協会事務局

2 月 26 日(月) 13:00~ テキスト編纂会議 石田委員長・編集担当・協会事務局

3 月 5 日(火) 13:30~ 広報編集会議 石田委員長・協会事務局・執筆担当者

3 月 6 日(水) 11:00~ オーケストラ編集会議 石田委員長・協会事務局・執筆担当者

3 月 27 日(水) 14:30~ インクルーシブアーツ編集会議 石田委員長・協会事務局・執筆担当者

(4) with コロナ対策としてクラシック音楽事業における契約条項の見直しについては、マネジメント部会にて検討の結果、コロナ禍を受けて見直された文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン等の整備を踏まえて、会員各位の契約形態等を精査の上で、新たなフォーマットの整備又は契約ガイドラインの整備を行う方針とした。

### 3、アーティスト連携事業 (定款第 4 条第 1 号関係)

#### (1) 地域創造連携事業

##### ○公共ホール音楽活性化事業 (導入プログラム)

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として、登録演奏家プロフィール冊子の作成やプレゼンテーションを受託し以下の通り実施した。

※令和 5 年度公共ホール音楽活性化事業 (全国 15 地域で実施)

※令和 5 年度登録アーティストによるプレゼンテーション

7 組 (11 名) の登録アーティストによるプレゼンテーションが開催ホールに対して実施された。

令和 5 年 4 月 18 日 (火) / 会場: トップホール (飯田橋)

##### ○公共ホール音楽活性化支援事業 (支援プログラム)

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールと OB・OG アーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。導入プログラムと同様に同財団からの受託事業として、登録アーティストのプロフィール冊子の作成やプレゼンテーションを開催するとともに、令和 5 年度は全国 34 地域で実施した。

※登録アーティストによるプレゼンテーション

当協会会員社所属の全 108 人 (組) の登録アーティストのうち、52 組 73 名によるプレゼンテーションが開催ホールに対して実施された。

令和 5 年 7 月 24 日 (月) 25 日 (火) 26 日 (水) / 会場: 東京芸術劇場

○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業である本事業は、アウトリーチの実施部分を文化庁の支援、コンサート部分の支援を地域創造のスキームで実施し、今年度は全国2地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

○公共ホール邦楽活性化事業 OB、OGアーティストの支援登録のマネジメント斡旋

公共ホール音楽活性化事業の兄弟事業である公共ホール邦楽活性化事業では、OBOGアーティストの支援制度がないことから、おんかつ支援事業の枠組みによる OBOG アーティストの派遣が出来るよう、支援事業実施に向けたマネジメントの斡旋を行った。

#### 4、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド2023-2024を、令和5年6月末日に発刊すると共に、次回の発刊に向けて情報の収集作業を行なっている。

「クラシック音楽事業ガイド2023-2024」

発行 令和5年6月30日 1,500部（無料）

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会

※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として協会活動の報告や各種情報等を掲載し、併せて協会加盟会員を記載して発行した。又発行部数は各号600部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル：広報誌「ポンプ&クラシックス!」 / 発行人：入山功一 / 編集人：中村聡武

第40号=7月31日発行、第41号=8月31日発行、第42号=11月30日発行、第43号=2月29日発行。又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

尚、今年度のメール配信は総数80通であり、新型コロナウイルスに関するもの(5類移行後の案内、イベント開催制限廃止に伴う留意事項等)は3通のみとなり、漸くコロナ関連の案内が収まった年となった。

(2) JAPAN CLASSIC NAVI 〈ホームページの運営管理〉

協会のオフィシャルウェブサイトの運営については、協会の紹介、法人組織の紹介、様々な事業の紹介を行うと共に、コロナ禍においては、クラシック音楽公演運営推進協議会による「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の改定情報の公表及び飛沫飛散の科学的検証の公式報告書等も掲載している。

- ・平成25年のサイト開設後から10年間の累計閲覧数 約144万回
- ・令和5年度単年の閲覧数 約8.8万回（昨年度約15.7万回）
- ・閲覧数上位の記事：3,146回 [令和5年4月21日付公開のお知らせ「新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴うクラシック音楽公演における感染予防のご案内」]  
1,978回 [令和5年3月13日付改定のお知らせ「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」]  
掲載は令和4年度だが令和5年度も閲覧があった為に記載  
915回 [令和4年10月7日付改定のお知らせ「クラシック音楽公演における

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」]

掲載は令和4年度だが令和5年度も閲覧があった為に記載

又、IIの3(3)に記載の文化庁アートキャラバン事業「クラシック・キャラバン2023」の特別サイトにおけるデータは以下の通りである。

＜年間閲覧数＞・ページビュー数：11.6万ページ（対前年比0.97）昨年より3%減

＜閲覧数上位のニュース＞・723回[クラシック・キャラバン2023開催決定]

・555回[記者会見終了]

・524回[クラシック・キャラバン2023新潟公演実施について(1/17)]

### (3)クラシックコンサート市場調査（新型コロナウイルス感染症からの回復調査）の実施

令和2年度の実施調査「クラシック音楽公演に関する新型コロナウイルス感染症の影響調査」（委託：文化芸術推進フォーラム）をベースとし、翌年の令和3年以降は当協会の市場調査として、会員各社に関わる公演総数や観客動員数、売上規模等の項目を新型コロナウイルス感染症からの回復調査として実施した。統括団体として業界の基礎データを収集し、クラシック音楽産業の社会的な認知と、業界の活動や役割を明確すると共に、この調査結果は文化芸術推進フォーラムを通じて政府に提出し、様々な施策へ反映させる方針である。以下の調査結果は令和6年3月に公表した令和4年度の回復調査データである。尚、令和5年度の調査は実施中であり6月の公表を予定している。

〈令和4年度の調査結果の概要〉

- ・調査対象：当協会会員のクラシック音楽事業者  
（マネジメント・ホール・演奏創造教育団体・メディア慣例、その他関連業種）
- ・調査内容：公演開催数、観客動員数、事業収入 等

〈令和4年度調査結果の概要〉

- ・主催公演ではコロナ禍前(2019年)の4.5%増に回復しているものの、その他公演は38.5%減と下回っており、総数としてはコロナ禍前の64.7%に留まっている。
- ・観客動員数は130万人と前年より80%増加したもののコロナ禍前の63.4%に留まっている。
- ・事業収入は主催公演で105億円と前年より83%増となったものの、補助金が32億を占めており、真水の部分ではコロナ禍前の微増に留まっている。その他公演は前年より微減、その他事業も微増ではあるが、公演事業総収入で俯瞰すると140億円であり、前年より50%増に回復しているものの、コロナ禍前の246億円に対しては57%の回復に留まっている。
- ・総論として、観客動員数はコロナ禍前の63%、公演収入は57%の回復率に留まっており、コロナ禍の影響が色濃く反映された状況が浮き彫りとなった。

## 5、音楽文化振興事業（定款第4条第2項関係）

### (1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体24団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟（会長：塩谷立(自由民主党)）と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、文化芸術基本法の理念の浸透、啓発を図り、文化芸術振興のための政策提言等の活動を行っている。尚、令和5年度は新型コロナウイルス対応として、以下の様々な活動や政策提言等を当協会も参画して実施した。

4月5日 文化芸術振興議員連盟による勉強会「豊かな文化芸術環境をつくる文化政策の構造化の提案」

6月19日 文化芸術振興議員連盟総会

6月21日 文化芸術推進フォーラム「提言2023」を公表

9月20日 芸術家会議/文化芸術推進フォーラムによる提言を公表

10月3日 日本における芸術家・文化の担い手の地位向上に関するセミナー開催(unesco共催)

10月5日 新型コロナウイルス感染症の影響に対する政府の施策の活用状況及び芸術家等のセーフティネットに関するアンケート結果の速報公表

3月31日 豊かな芸術文化を生み出すために、芸術家が安心して仕事に取り組める環境を

働き方に関わらず、万が一に備える「しくみ」をつくる提言(中間案)公表  
芸術家の社会保障等に関する研究会審議のまとめ 公表

(2) 日本音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第15回夏の研究会(北のまちの芸術文化)

事例セミナー「札幌市民交流プラザの取り組みと事業戦略について」

エクスカッション「PMF ピクニックコンサート/ウポポイ 民族共生象徴空間」

令和5年7月28日(金)～30日(日)

※第16回冬の研究大会(研究発表とパネルディスカッション、シンポジウム)

8つのテーマによる研究発表、3つのテーマのパネルディスカッション

令和6年2月17日(土) 09:00～14:45

シンポジウム「アートマネジメント人材の専門性を保証する」～魅力ある職業として

令和6年2月17日(土) 15:00～18:15

## 6、国際交流事業(定款第4条第2項関係)

(1) FACP(アジア文化芸術交流促進連盟)への参加

2023年第41回年次総会[台湾・高雄市]で開催された。コロナ後初のリアル開催として、今回は国際委員会担当の二瓶専務理事が出席する他、日本から参加した10名を含めた約100名の参加にて開催された。アジア各都市の状況報告ではコロナの傷を引きずる事なく各国非常に前向きであり、アジアの国々が生み出す新しいアーティストや芸術作品の紹介・発信に意欲的であり、クラシックの話題はあまり発言がなかったとの報告がなされた。その他、シンポジウムやプレゼンテーション等も開催された。2024年の年次総会は10～11月に中国の西安が候補地となり、これに先立つ中間ミーティングが香港で開催される予定との事。

(2) その他の国際交流活動

- ・カナダの National Arts Centre Orchestra より 2025 日本ツアーのマネジメント斡旋の依頼があり、会員各位に情報共有を行い、希望のあったマネジメント社の紹介を行った。
- ・ドミニカ共和国大使館からの依頼により、同国との国交樹立90周年の文化交流事業の企画提案を受け、会員各位に情報共有を行い、希望のあったマネジメント社の紹介を行った。

## 7、企業イベント制作事業(定款第4条第3項関係)

(1) 宝くじ文化事業

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間12回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間12回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、新型コロナウイルス感染症対策による入場制限により、東京は80名制限(昨年より20名増)、大阪は50名(昨年より10名増)制限の限定入場者での開催となった。東京の全12回の合計来場者数は約960人、大阪の全12回の合計来場者数は約600人。

東京ドリーム館は原則毎月第三水曜日の12:00 ランチタイムに開催。

大阪ドリーム館は原則毎月第三木曜日の16:00 トワイライトで開催。

[出演者の所属会員]

アスペン、アーティフィニティ、コンサートイマジン、ジャパン・アーツ、東京コンサーツ、二期会21、日本オペラ振興会、パシフィック・コンサート・マネジメント、プレルーディオ、プロア

ルテ ムジケ、MIYAZAWA&Co.、ミリオンコンサート協会、他  
尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。

#### ※年末ジャンボ宝くじ抽せん会アトラクションの制作

年末ジャンボ宝くじでは12月31日の抽せん会後のアトラクションにて昨年に引き続きクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が公演制作の全てを受託した。昨年に引き続き、新型コロナウイルス対策による入場制限が撤廃された事から、1,000名を超えるほぼ満席に近い状態で開催され、ご来場された多くの宝くじファンに対して、クラシックコンサートの魅力をアピールする音楽普及活動を行なった。

12月31日(日) 抽せん会 10:45 開場/11:00 開始 (アトラクション 14:00 開始)

東京オペラシティコンサートホール

[出演者の所属会員] AMATI、ジャパン・アーツ、二期会 21、日本オペラ振興会

## II 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況(令和5年度)

### 1、会議等の開催、委員会の報告

#### ○総会

定時会員総会	6月15日(木) 14時00分	東京・品川区	東京オペラシティ 7F 第1会議室
臨時会員総会	9月26日(火) 11時00分	東京・品川区	オフィスサークル N 五反田セミナー室

#### ○理事会

第1回定例理事会	5月25日(木) 14時00分	東京・品川区	オフィスサークル N 五反田セミナー室
第2回定例理事会	7月13日(木) 14時00分	東京・品川区	オフィスサークル N 五反田セミナー室
第1回臨時理事会	9月11日(月) 決議の省略によるみなし決議	令和5年臨時会員総会の開催承認審議	
第2回臨時理事会	10月5日(木) 15時00分	東京・品川区	リモート開催
第3回定例理事会	1月11日(木) 15時00分	東京・千代田区	アルカディア市ヶ谷 私学会館 7F 雲取
第4回定例理事会	3月28日(木) 14時00分	東京・品川区	オフィスサークル N 五反田セミナー室

#### ○執行役員会(会長・副会長・専務理事・常任理事)

第1回執行役員会	5月25日(木) 12時00分	東京・品川区	協会事務局会議室
第2回執行役員会	1月11日(木) 14時00分	東京・千代田区	アルカディア市ヶ谷 私学会館 7F 雲取
第3回執行役員会	3月28日(木) 12時00分	東京・品川区	協会事務局会議室

#### ○統括執行役員会(会長・専務理事・常任理事)

第1回統括役員会	7月13日(木) 12時00分	東京・品川区	協会事務局会議室
----------	-----------------	--------	----------

#### ○監査(監事・協会公認会計士・協会税理士)

定時監査	5月11日(木) 14時00分	東京・品川区	協会事務局会議室
------	-----------------	--------	----------

#### ○新年会

令和六年新年会	1月11日(木) 17時00分	東京・千代田区	アルカディア市ヶ谷 私学会館 5F 大雪
---------	-----------------	---------	----------------------

#### ○マネジメント部会

クラシック音楽普及事業の(1)に記載の活動を推進する他、アフターコロナ対策における契約条項の見直しについては音楽関連人材育成事業の(4)に記載している。

又、コロナ禍における水際対策緩和とは裏腹に、地域毎の入国管理局によるビザの発給条件が違ふ事から、4月6日付にて、会員各位に対して「ビザの取得にかかる在留資格認定に関する緊急アンケート」を実施すると共に、出入国在留管理庁に対して、在留資格「興行」の演劇等に係る上陸基準省令等の改正案に関するパブリックコメントを4月28日に提出した。

[パブリックコメントの内容]

- ・文化芸術の振興に資する活動の在留資格申請の審査に要する期間の短縮を求めます。
- ・施設の要件である100人以上の人数制限の撤廃を求めます。
- ・再入国申請の際の招聘元による代理人申請の許容を求めます。
- ・「興行」活動と「芸術」活動二つの在留資格認定の許容を求めます。

#### ○ホール部会

障害者差別解消法の変更を受け、我々事業者に対する現行の努力義務が令和6年4月より義務化へ強化される合理的配慮の提供について、ホール部会では、クラシック公演の障害者対応について、施設毎の状況や方針を共有し、いつまでにどの程度までの対策を検討しているのか、意見交換を踏まえ、今後の参考としていただく為の拡大委員会を開催した。

日時 令和6年3月11日(月) 12時00分～14時00分

会場 東京オペラシティビル7階 第4会議室 [新宿区]

参加者 協会会員社 計21社26名

その他にも、音楽関連人材育成事業の(2)に記載の活動を推進している他、マネジメント部会と共通の課題について意見交換を実施する他、情報収集発信事業の(3)に記載の市場調査についても、ホール会員への協力の働きかけ等を実施した。

#### ○教育・創造部会

音楽文化振興事業の(2)に記載の活動を推進する他、音楽関連人材育成事業の(3)に記載のテキストリニューアルの活動を実施している。

#### ○オペラ部会

加盟会員のオペラ4団体と連携し、アート・キャラバン事業における合唱分野の取りまとめや、声楽・オペラ分野に対し5類移行に伴う感染予防のご案内の内容を協議する等の活動を実施している。

#### ○関西地区連絡協議会

関西地区連絡協議会では、コロナ禍からの回復調査を含む関西会員の現状と課題を共有し、協会活動に対する意見聴取を行う等、関西地区会員の連携強化に取り組む他、会員の親睦を深める活動を行った。

開催日：9月9日(土) 17:00～18:30 ザ・シンフォニーホール会議室

12月9日(土) 18:00～20:00 ザ・シンフォニーホール会議室 他

## 2、会員・役員の移動状況報告

令和5年度の会員数

	令和5年4月1日	令和6年4月1日	増減
正会員A	6	7	+1
正会員B	29	25	-4
正会員C	15	17	+2
賛助会員	46	44	-2
名誉会員	0	0	0

入会者：正会員A=株式会社テンポプリモ

正会員C=公益財団法人日本製鉄文化財団紀尾井ホール、株式会社ナカツボ・アーツ

賛助会員＝住友生命いずみホール、堺シティオペラ一般社団法人

退会者：正会員 B＝株式会社テンポプリモ、株式会社ナカツボアーツ、住友生命いずみホール、  
公益財団法人ジェスク音楽文化振興会

賛助会員＝第一生命ホール、スタインウェイ・ジャパン株式会社、ミューズウエスト株式会社、  
三井住友海上しらかわホール

#### 令和5年度の役職員数

	令和5年4月1日	令和6年4月1日	増減
理事	15	16	+1
監事	2	2	0
顧問	4	4	0
参与	3	3	0
職員	2（役員兼務1名含む）	2（役員兼務1名含む）	0

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

### 3、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

#### (1) 関係団体との連携・協力

- ・東京都ネットワーク会議への出席（第1回7月11日、第2回2月9日）
- ・チケット適正流通協議会に加盟して活動を推進している。（今年度は11月17日に全体会議が開催）
- ・全国中小企業団体中央会（経済産業省・中小企業庁関係組織）に加盟して活動を推進している。
- ・文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。
- ・劇場音楽堂等連絡協議会からの依頼により同組織の「ツアー情報連絡会」に対して、当協会会員の公演情報の提供を行った。
- ・音楽産業文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・子ども達と芸術家の出会う街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に入山会長が就任し活動を推進している。
- ・仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

#### (2) 後援名義等の許可状況

令和5年度は以下の6事業について当協会として名義後援を行った。

申請者：一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

事業名：第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級セミファイナル・ファイナル

申請者：公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名：仙台クラシックフェスティバル2023

申請者：公益財団法人日本オペラ振興会 事業名：イタリア著名国際オペラフェスティバルの優秀指導者を招聘して実施する国際的オペラ歌手育成事業

申請者：株式会社ザ・シンフォニーホール 事業名：オールスター紅白オペラ歌合戦2023

申請者：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2024 運営委員会 事業名：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2024

申請者：公益財団法人ロームミュージックファンデーション 事業名：スカラシップコンサート

#### (3) 文化庁 アートキャラバン事業の実施

文化庁令和4年度補正予算 文化芸術振興費補助金「統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン2）」に応募し採択され「クラシック・キャラバン2023～クラシック音楽が世界をつなぐ」と題したコンサートを昨年に引き続き全国27地域にて計27公演を主催開催した。この事業はコロナ



禍で鑑賞機会が失われた文化芸術の重要性や魅力を発信することにより、需要喚起や業界全体の活性化を図る事を目的として実施された。

当協会では、昨年に引き続き会員公募による運営委員会を組織して取り組むと共に、協会主催に加え、開催地毎に運営委員会の会員各社に公演制作を委託し共に主催する形式を採って実施した。開催実績として目標とした70%の集客目標は残念ながら達成できず約60%の動員数となったが、プロジェクトアンバサダーの春風亭小朝氏を始め、日本テレビ等多くのメディアで数多く取り上げられた事により、一定の成果を挙げる事ができた。令和3年から今年まで実に三カ年に亘り取り組んだクラシック・キャラバン事業は、次年度は補助のスキームが変更となる事から、今年度を以て終了する事となった。

#### 【実施概要】

公演タイトル:クラシック・キャラバン 2023 クラシック音楽が世界をつなぐ～輝く未来に向けて～

大ホール企画7公演〈華麗なるガラコンサート〉

8月21日(月)14:00[秋田]あきた芸術劇場ミルハス大ホール

主催:光藍社

9月10日(日)16:00[愛知]愛知県立芸術劇場 コンサートホール

主催:パシフィック・コンサート・マネジメント

9月13日(水)19:00[東京]サントリーホール 大ホール

主催:ザ・シンフォニーホール

10月9日(月・祝)15:00[大阪]ザ・シンフォニーホール

主催:ジャパン・アーツ

11月23日(木・祝)15:00[北海道]札幌コンサートホールKitara

主催:ジャパン・アーツ

12月10日(日)15:00[福岡]アクロス福岡シンフォニーホール

主催:ジャパン・アーツ

1月7日(日)17:00[新潟]りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

主催:ジャパン・アーツ

小ホール企画20公演〈焔めくガラコンサート〉

9月1日(金)18:30[千葉]浦安市文化会館 大ホール

主催:カモシタピアノ

9月3日(日)15:00[石川]石川県立音楽堂 コンサートホール

主催:アスペン

9月14日(木)19:00[神奈川]横浜みなとみらいホール 小ホール

主催:1002

9月16日(土)14:00[宮崎]都城市総合文化ホール 中ホール

主催:オフィス・フォルテ

9月23日(土・祝)15:00[奈良]秋篠音楽堂

主催:アスペン

9月23日(土・祝)14:00[高知]高知市文化プラザかるぽーと 大ホール

主催:光藍社

10月13日(金)18:45[広島]東広島芸術文化ホールくらら 大ホール

主催:光藍社

10月15日(日)14:00[富山]富山県民会館

主催:Kトレーディング

10月15日(日)14:00[山形]シェルターなんようホール 大ホール

主催:オフィス・フォルテ

11月3日(金・祝)14:00[長野]ホクト文化ホール 中ホール

主催:Kトレーディング

11月9日(木)18:30[鹿児島]川商ホール(鹿児島市民文化ホール)第2ホール

- 主催:光藍社  
11月12日(日) 15:00 [埼玉] ふじみ野ステラ・ウェスト  
主催:アスペン  
11月23日(木・祝) 16:00 [香川] 穴吹学園ホール  
主催:テレビマンユニオン  
11月26日(日) 14:00 [福島] ふくしん夢の音楽堂  
主催:東京コンサーツ  
12月1日(金) 19:00 [岡山] 岡山芸術創造劇場ハレノワ 中劇場  
主催:Kトレーディング  
12月2日(土) 16:00 [群馬] 高崎芸術劇場 音楽ホール  
主催:テレビマンユニオン  
12月7日(木) 18:30 [島根] 島根県民会館 中ホール  
主催:AMATI  
12月9日(土) 14:00 [山口] シンフォニア岩国 コンサートホール  
主催:AMATI  
12月23日(土) 15:00 [静岡] 静岡市民文化会館 大ホール  
主催:アスペン  
12月30日(土) 15:00 [京都] ロームシアター京都 サウスホール  
主催:東京コンサーツ

#### 4、この法人の目的に適う事業

新型コロナウイルス感染症への対応と対策に向けた活動

当協会と公益社団法人日本オーケストラ連盟、公益社団法人日本演奏連盟他とクラシック音楽公演運営推進協議会を組織し、事務局を当協会内に設置して以下の諸活動を関係諸団体と連携して対応している。

- ・4月13日 新型コロナ類型見直しに伴う各業界の現況等に関する内閣官房コロナ室との意見交換会
- ・4月21日 5月8日以降の感染予防対策「クラシック音楽公演における感染予防のご案内」公表  
5月7日を最後に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行され、現行のガイドラインが法的根拠を失い廃止となる事に伴って「クラシック音楽公演における感染予防のご案内」をクラシック音楽公演運営推進協議会において策定し公表した。

##### (2)クラシック音楽公演運営推進協議会の事務局団体窓口業務

協議会により策定公表したガイドラインの改定業務、5類感染症への移行によるガイドラインの廃止と、移行後の「クラシック音楽公演における感染予防のご案内」等について、クラシック音楽公演の各種問い合わせ窓口として、全国の地方団体、全国のホール、アマチュア団体、クラシック音楽ファン、医療関係者等からの相談や苦情の窓口として対応し、クラシック音楽業界の統一窓口としての機能を果たしている。